

エイデル研究所 保育関連書籍

2022～2023年刊行

コミックで発信☆保育に活かす 子どもの権利条約 ～「保育通信」より

公益社団法人全国私立保育連盟（編）



詳細はこちら

「保育者から寄せられた〈権利条約〉にかかわるエピソードが、4コマ漫画と短いコラムで表現され、〈権利条約〉と保育現場とのつながりが理解できます。論考、座談会、関連資料により、さらに深く学ぶこともできます。」



税込1,650円／A5版・212頁／2022年12月発行／ISBN 9784871686853

ありのままの自分 ～大人の自己肯定感を育てる

近藤 卓（著）、近藤伸子（絵）



詳細はこちら

「自尊感情」には「すごい自分」と「ありのままの自分」という2つの気持ちがあります。本書は、この「ありのままの自分」に注目し、その意味と大切さ、「自尊感情」の育み方について丁寧に解説しています。」



税込2,200円／A5版・235頁／2023年11月発行／ISBN 9784871687034

保育者になるためのピアノ教本〈増補版〉 子どもの歌でいつのまにか上達する

山本 学（編著）



詳細はこちら

「保育者を志す学生や保育者が、従来のピアノ教則本ではなく、「子どもの歌を練習することによって、ピアノが上手に弾けるようになる」ことをコンセプトとしています。保育現場でよく歌われている子どもの歌(全108曲)を収録。」



税込2,200円／菊倍版・144頁／2023年4月発行／ISBN 9784871686952

その他の出版物のラインナップは、下記のリンクや弊社HPをご参照ください。

<https://www.eidell.co.jp/books/>

書籍のご注文は、下記のフォームからお願いします。

<https://www.eidell.co.jp/site/contact.html>



注文フォーム
QRコード

※「お問い合わせ内容」欄に、**書名・冊数・送付先のご住所**をご記入ください。
※「日本保育学会大会参加者」とご記入いただくことで、①2割引となります。
また、②5000円以上（税込、2割引後）のお買い上げで送料無料となります。
必ずご記入をお願いいたします。

現場の学びを支える保育誌

げんき

保育の質を高めるために

子ども主体の遊びと生活

大人の都合ではない、
子どもを主体とした保育を学ぶ

保育の充実を図る環境構成

子ども自身が感じ、
気づくことのできる環境づくりを学ぶ

子育て文化の創造と伝承

豊かな遊びと生活、絵本、
わらべうた等の子育て文化を学ぶ

『げんき』の使い方

目指す保育を見つけるために

職員室での意見交換の材料に

仲間同士の読み合わせ会の資料に

研修（園内・園外）の講師探しに



隔月
25日発売
年6回発行
1・3・5・7・9・11月
発売



B5判 定価1,100円（本体1,000円＋税）
年間購読料 6,600円（本体6,000円＋税）
エイデル研究所 刊

特集テーマ

- No.190 乳児の視覚の発達—視覚の発達に合った環境設定を
- No.191 幸福学からみた子どもとの関わり
- No.192 乳幼児の睡眠と脳科学
- No.193 「イヤイヤ期」の捉え直し
- No.194 音の環境から保育を考える
- No.195 絵本・再考
—構造から考える絵本の特性—
- No.196 遊びたくなる環境構成
- No.197 不適切対応のない保育現場へ
～今こそ「子どもの権利」を考えるとき～
- No.198 乳幼児の水との出会い
- No.199 過保護と過干渉
- No.200 園と家庭をむすぶ「月刊絵本」のくり返し読み
- No.201 外国にルーツをもつ子どもの保育

連載タイトル

保育とおもちゃ～012歳児の保育環境を考える（瀧 薫）
保育と絵本～要領・指針にそって（瀧 薫）
こどもへの対応に困ったときに読む（野藤 弘幸）
森からのまなざし～いのちとしての子どもを想う（小西 貴士）
ことのはあやとりわらべうた（廣田 弘子）
保育の発見（赤西 雅之）
保育ってステキ（松本 崇史）
こども環境のまなざし（渡部 達也）
子どもと音環境（一般社団法人こどものための音環境デザイン）
ある公立保育者養成校の物語（木村 明子）
いのちの保育 共有体験の大切さ（近藤 卓）
幼児期に育むからだの自尊感情（徳永 桂子）
保育心理士への招待（牧野 桂一）

ご注文の際はFAXでお申込みください FAX 03-3234-4644 お問い合わせ：エイデル研究所 ☎03-3234-4641

『げんき』定期購読申込書

定価1,100円（本体1,000円＋税）
年間購読料6,600円（本体6,000円＋税）

バックナンバー

氏 名／園 名

TEL.

住所



『園と家庭をむすぶ げ・ん・き』好評連載

保育とおもちゃ ～012歳児の保育環境を考える 保育と絵本 ～要領・指針にそって

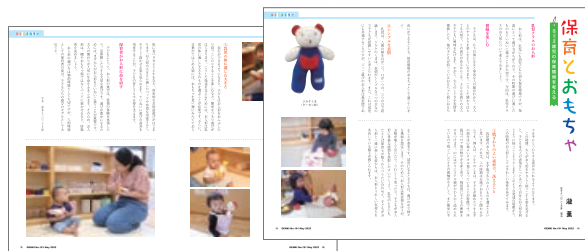
瀧 薫

新しい絵本・おもちゃに出会う度に、子どもたちは新しい自分に出会うことができます。

良質な絵本・おもちゃが、発達をいかにひろげるのか、要領指針を読み解きながら、専門的に学んでいきます。

「保育と絵本」は、実践を通して、絵本の読み聞かせと、読み聞かせから発展した子どもたちの遊びや関わりを、要領・指針から抜粋して解説します。

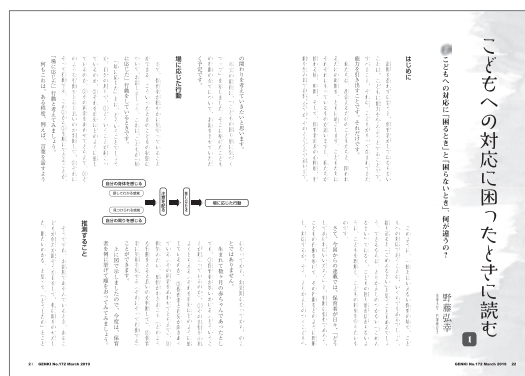
また、「保育とおもちゃ」は、実践で使われているおもちゃの解説と子どもたちが遊んでいる写真でどのように使われるのか分かりやすく解説しています。



こどもへの対応に困ったときに読む

野藤 弘幸

- ・保育者がしてはならないことは、こどもに能力を与えようとする。保育者がすべきことは、こどもがもって生まれた能力を引き出すこと。それだけです。
- ・周りが気になって自分や相手の気持ちが推しはかれない子ども、注意が散漫になって課題がうまくこなせない子どもに対して、「できるはず」「できないのは努力してない」と決めつけ、もって生まれた能力以上のことを要求するのではなく、困ることなく生活を送ることができる手立てを示してあげることが重要です。
- ・「こどもの困り感に気づくマップ」を示し、保育者が日々判断に迷うであろう、こどもの行動をどのように理解し対応するかなど、こどもへの関わりを考えていきます。



保育の発見

赤西 雅之

執筆者の赤西先生が、園長として実際に体験した園長や保育者、保護者からの悩みや現状の保育の問題について、長年の経験をもとに解決策や想いをつづります。

現役の園長ゆえ、時事の話題を多く取り上げているので、園で抱えている問題について、確かなヒントや解決への手がかりを見つけることができます。

